

「ひまわりのたね」だより

【問合先】子育て支援課 子育て支援係 ☎65・0081



梅野よしみ 保育士

子どもを思う

気持ちと同じ

春休みの幼稚園児や入園前の子どもたちで賑やかだった子育て支援センター「ひまわりのたね」も今では静かになり、小さい子たちがハイハイをしたり、歩けるようになった子がよく動いて遊んだりする姿が見られます。



ある日の夕方、自分の孫の「お腹すいた〜おやつちょうだい!」コールに負けておやつを与えていると、「見てもらっているのに悪いけど、夕食を食べないのでやめてほしい」と娘に言われました。思えば昔私も同じことを母に言ったなと反省しました。

あるお母さんは、「私は虫歯予防を考えているのに、おじいちゃんが自分の使った箸でこの子にあげたのです。主人も何も言ってくれなくて…」と不満をもらしていました。そんな時、さいたま市が作った「祖父母手帳」を知りました。

「今と昔の子育ての違い」「祖

父母世代との上手な付き合い方」などを紹介したものです。

その中のアンケート【うれしかったことは?】に対する回答で、親は「上手に育てているね」、祖父母は「助かる・ありがとう」の言葉でした。【気遣ってほしかったことは?】には、おやつのことや箸のことに加え、勝手に買い与える、子育てに口出しすることなどでした。この手帳は祖父母に直接言いづらいことを伝えられると好評のようです。

「祖父母も親も子どもたちを大切に思う気持ちは同じ。お互いの理解を深め、子育ての協力関係を築いていきたいものだ」の言葉には深くうなずいていました。

若いお母さんたちと付き合っていく私は、しっかりと心に留めておきたいと思いました。

子育て支援センター
「ひまわりのたね」

- 【開 館】月～金曜日 9～16時
【場 所】総合福祉センター
「ひまわりの里」内
【対 象】0歳から未就学の子
もとその保護者
※利用には保護者の付き添い
が必要です
【利用料】無料